

遙かな風景への旅

早川俊二展

2015
10/30 金 > 11/29 日

9時～21時　観覧無料

休館日：月曜日（11/23は開館）、11/4・24振替休

会場：砂丘館ギャラリー（蔵）+一階全室

※一階和室会場は市民利用等でご覧いただけない場合があります。

砂丘館



日本木版画販売会員



「風景への旅」(コーヒーアート・砂糖壺) 2004年 油彩、キャンバス 50×50cm



「着衣するヴァン・ゴogh」1998年油彩、キャンバス 50×50cm

早川さんは40年フランスのパリに住んで絵を描いている。日本生まれの、パリの画家と言った方が正解だろう。その早川さんが10代までを過ごした長野で、小中高等学校時代の同級生が力を合わせて、この6月、早川さんの大展覧会を開いた。その一部を砂丘館でお借りして新潟で紹介する。パリで制作に難渋し、絵具やカンバスを自分で作ることにまで戻って、一から絵を作り直したという早川さんが目指したのは、人も、卓上の物も、見えるすべて、描かれるすべてを「風景」としてつかみ直すことだったかもしれないと感じる。長野で作品を見て、画面の隅々までが光の風に顛動しているような絵肌が、心地よかったです。同じ日本でも、長野と新潟では光が違う。乾いて、カサカサという音を刻むような早川さんの明るい絵の光は、やはりフランスの光なのだろう。

(大倉 宏)

ギャラリートーク「自作を語る」

お話：早川俊二

聞き手：大倉 宏（砂丘館館長）

11月7日（土）14時～

参加費：500円（予約不要、直接会場へ）

早川俊二（はやかわ しゅんじ）

1950年長野県生まれ。70年創形美術学校入学。坂本一道氏に師事。73年創形美術学校卒業。74年渡仏。76年パリ国立美術学校入学、81年まで在学。彫刻家Marcel Giliに師事。78～2011年フランス、日本にて個展、グループ展多数。2015年現在パリ在住。



砂丘館

旧日本銀行新潟支店長役宅

〒951-8104 新潟市中央区西大畠町5218-1
tel./fax.025-222-2676
sakyukan@bz03.plala.or.jp
指定管理者／新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体

会場には駐車場がありません。また、周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用下さい。
新潟駅からのバス:浜浦町線C2系統 または
観光循環バス「西大畠坂上」バス停下車徒歩1分
※新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は、
駐車券提示にて1時間分の無料券を差し上げます。

■主催

砂丘館

■後援

在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本、新潟・フランス協会

■協賛

雪国あられ、NSGグループ、ナレッジライフ、新潟ビルサービス、丸屋本店、藤田金属、
郷土の文化に親しむ会、学校法人光塩学園:光塩学園女子短期大学、
光塩学園女子短期大学附属幼稚園、光塩学園調理製菓専門学校
公益法人能宗文化財団:福山自動車時計博物館
早川俊二国内展事務局、早川俊二長野展実行委員会事務局

■協力



新潟・フランス協会



学校法人光塩学園



福山自動車時計博物館

私たちたちは砂丘館の
自主事業を応援しています。



雪國あられ 株式会社



NSGグループ



株式会社 ナレッジライフ

郷土の文化に親しむ会